

施策評価調書(3年度実績)

政策体系	施策名	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	所管部局名	生活環境部	施策コード	I-4-(4)
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、土木建築部	長期総合計画頁	45

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域の活性化(まちづくり)	人材の育成(ひとづくり)	持続可能な活動基盤づくり(なかまづくり)

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i	県民一斉おおいとうつくし大行動参加者数(人)	①②③	H26	354,556	389,000	255,122	65.6%	404,000						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	著しく不十分 感染防止対策を取り入れた活動方法等を情報発信したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの集団で行う活動ができなかったことから、目標値を達成することができなかった。	著しく不十分

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・まちづくり事業をうつくし推進隊7団体に委託し、松林等の整備や環境学習、スタンプラリー等を通じて、広く県民へ「おおいたうつくし作戦」の浸透を図ることができた。
②	・幼児向け環境劇は、幼稚園等からの要望も多く、24公演で1,808人を対象に実施しており、環境教育指導者からは、幼少期からの環境保全意識の醸成に効果的であると評価を受けている。 ・環境教育アドバイザーを114回(受講者数:5,822人)派遣し、地域や学校、職場などにおける環境教育の機会を提供することができた。
③	・うつくし感謝祭やSNSを活用した情報発信により、うつくし作戦のけん引役であるうつくし推進隊は221団体に増加した。 ・なかまづくり推進事業を5団体が活用し、地域住民を巻き込んでの清掃活動を行うなど活動基盤を強化することができた。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②③	おおいたうつくし作戦推進事業	65.6	80
①	クリーンロード支援事業	94.3	120

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○おおいたうつくし作戦県民会議 自然保護・観光部会 部会会議(R3.7)</p> <p>・子供達への教育・啓発をやっていくことが大事。環境分野について、実体験から学び、家族や地域のみinnで楽しみながら定着・継続させる視点を持つことが重要である。</p>	
--	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<p>・うつくし推進隊等が行う環境教育や環境保全活動などを積極的に支援し、点的に取り組まれてきた活動を面的に広げるとともに、うつくし感謝祭や各種キャンペーン活動を通じて「おおいたうつくし作戦」のさらなる浸透を図る。</p> <p>・幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に、家庭をはじめ学校、地域、職場などあらゆる場面での環境教育を進めるため、環境教育アドバイザーを積極的に活用するとともに、特に、次世代を担う子どもを対象にした環境教育の充実を図る。</p>